

ふたごの歌 五七五

5 1

平成二十一年 五月二十五日

広島市立中島小学校



今月のおすすめの句

緑陰がぼくの陰まで包みこむ

六年 赤畑 祐樹

かえりみちであった人にはあいさつだ

六年 伊藤 慶

空からの紫はしご藤の花

六年 伊藤 奏

ふらふらと白いふつりんエゴの花

六年 小谷 風斗

春風が口笛吹いておどってる

六年 渡邊 藤吉郎

緑陰がきれいなもよう描いている

六年 伊藤 奏

葉緑がだんだんだんだん青くなる

五年 藤本 修平

【エゴ ぶじ】

エゴの花白い花びらいい香り

六年 赤畑 祐樹

エゴの花におつてみたらいいかおり

六年 濱本 琳花

ふじの花雨のしずくできれいだな

六年 小谷 風斗

【こいのぼり】

こいのぼりおやこいつしよにおよいでる

六年 坂田 空夜奏

こいのぼり風にふかれていい気持ち

六年 濱本 琳花

こいのぼりみんなを上からのぞいてる

六年 平本 花菜子

【つばめ】

草も木も生い茂る夏になりました。どんどんと変化する草花や樹木に目が行きます。五七五にもそんな作品がいっぱいです。

身のまわりの変化をよく見つけ、感じたことを、じっくりとふり返り、びっтарыの言葉を見つけてまとめましょう。表現がまとまったら、校長室の前のポストに入れてください。

自分らしいものの見方、感じ方の表れた五七五を待っています。

【緑 緑陰】

緑色学校中をつめつくす

六年 赤畑 祐樹

くもり空子育ていそがしつばめ舞う

六年 濱 利沙

つばめがね巣作りはじめいそがしい

六年 山床 優太

【その他】

たのしいみんなのえがおうれしそう

六年 伊藤 慶

残月や夏の昼空かげつすく

六年 森本 龍生

ずいふんと景色が変わりし数年間

六年 森本 龍生

なつがきたやがい活動たのしみだ

五年 田中・西村

さくらの木季節すぎればケムシの巣

五年 中島 明

にわたりのなきごえきこえあさがくる

三年 前平 桃花

あついとぎつめたい水が一ばんだ

二年 二宮 塔子

あつ日はつめたい水が一ばんだ

二年 雨田 怜奈